

令和7年度 学校関係者評価

学校番号	33	学校名	静岡県立清水南高校	校長名	山田 正訓
	1		静岡県立清水南高校中部		

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	中高一貫教育校のメリットを生かした学習計画に基づき、個別最適で探究的な学びにより魅力ある授業を実施し、学力の向上を図る。	「授業で力が付いた」と答える生徒の割合：80%	A	A	「授業で力が付いた」を「わかる」から「学力定着」へ、生徒の意識改革を進めてください。
		週5日以上家庭学習に取り組む生徒の割合：80%	B	B	なぜ目標を達成できなかったのかを分析し、次年度は目標達成できるよう、取り組んでください。
		外部講師を招聘して行う教職員研修に対する教職員の満足度：70%	A	A	次年度は、目標数値をきちんと確認できるアンケートを取るようになしてください。
		授業公開週間、研究授業等の校内研修での学びを生かし、授業改善に取り組んだ教員の割合：70%	A	A	次年度も引き続き授業改善に努めてください。
イ	地域社会や産学官との連携を推進し、生徒が自らの生き方・在り方に関心を持つキャリア教育と探究的な学びの充実を図る。	「自らの進路についてより深く考えるようになった」と答える生徒の割合：80%	A	A	次年度も引き続き生徒一人ひとりの進路実現に向けてサポートしてください。
		講演、講義等の回数：年間合計10回	A	A	次年度も引き続き取り組んでください。
		大学の体験授業に参加、または、企業等を訪問・見学した回数：年間合計10回	B	B	次年度は、目標達成できるよう、引き続き取り組んでください。
		社会体験活動、企業や大学の訪問、校内外でのボランティア活動に参加したと答える生徒の割合：60%以上	B	B	ボランティアの大切さを知るきっかけ作りが必要ではないか。 ボランティアの定義を示し、具体的な活動内容を記載してはどうか。
ウ	特別活動や部活動等を通して生徒の自己有用感を高めるとともに、教育相談体制を充実させ、心身ともに健康な生徒を育	「他者との関わりの中で、自分は価値ある存在だと感じる」と答える生徒の割合：70%	A	A	目標数値を確認できるよう、アンケート項目の見直しをお願いします。
		部活動に一生懸命取り組む生徒の割合：80%以上	A	A	次年度4月より中高ともに部活動が任意加入になるが、生徒たちがやりたいことをできる環境を整えてください。

様式第1号

	成する。	「自ら進んであいさつをしている」と答える生徒の割合：80%	A	A	次年度は、挨拶を含め、その他の規範意識についての育成もお願いします。
		教員等による交通安全街頭指導の実施：学期に1回	A	A	次年度も引き続き指導をお願いします。
		SSW、SCの稼働率：70%	A	A	次年度も可能な限りSSW・SCを配置し、悩みを抱える生徒・保護者の対応をお願いします。
		「学校に相談できる人がいる」と答える生徒の割合：80%	A	A	次年度も引き続き、学校の体制作りをお願いします。
		「保健だより」の発行：年間12回	A	A	次年度も引き続き取り組んでください。
エ	魅力ある学校行事等を実施し、国内外の文化・芸術に触れる体験を通じて、豊かな感性や表現力を育てる。	「学校生活が充実している」と答える生徒の割合：80%	A	A	次年度も生徒が充実した学校生活を送れるようお願いします。
		研修旅行で「充実している」と答える生徒の割合：90%以上	A	A	深夜便の利用について、生徒の体力負担が大きいのではないのでしょうか。昨今の時代変化を勘案し、3年に1回は内容から見直し、検討すべきでしょう。
		「表現力や協調性が身に付いた」と答える生徒の割合：80%	A	A	次年度も引き続き取り組んでください。
		[音楽]芸術鑑賞、校内演奏会、公開レッスン等実施回数：年間計10回以上	A	A	次年度も引き続き取り組んでください。
		[美術]美術鑑賞、実技講習会等実施回数：年間計10回以上	A	A	次年度も引き続き取り組んでください
		[演劇]芸術鑑賞、校内上演会、実技講習会等実施回数：年間計10回以上	A	A	次年度も引き続き取り組んでください
オ	世界文化遺産のある三保の地の、郷土・文化への理解を深めるとともに、地域と連携した教育活動を内外に発信することにより、開かれた学校づくりを推進する。	読書活動の取組による生徒の充実度：70%	A	A	次年度も引き続き取り組んでください。
		図書館貸出数：4,000冊以上	A	A	次年度も引き続き取り組んでください。
		実践的防災訓練実施：年間3回	A	A	次年度も引き続き取り組んでください
		地域防災訓練参加率：生徒、教員の参加率60%	B	B	高校生の地域防災を担う意識改革に取り組んでください。 2年に一度、地域防災の日を登校日として、三保地区の防災訓練に参加するなどの工夫があってもよいのではないかと。
		土曜オープンスクール参加者数：年間1,200人	B	B	参加人数が減少した理由を分析し、次年度開催回数を減らした際の対応を検討し

様式第1号

					てください。
		学校公式SNS発信数：年間250件	A	A	次年度は閲覧してもらうための工夫を検討してください。
カ	安心・安全な教育環境の整備と業務の効率化、及び働き方改革を含めた業務改善により、教育活動の充実を図る。	例月指導検査、会計・物品事務指導検査における文書指示、注意事項：0件	B	B	次年度も引き続き取り組んでください。
		学校施設、管理財産の安全確認の実施：月1回以上	A	A	次年度も引き続き取り組んでください。
		教職員のNESメール確認：100% クラウドサービスの導入検討着手（見直しを含む）	B	B	メール確認の習慣化が進むようお願いします。
		夏季休暇の取得率：100%	B	B	次年度は、確実に100%になることを期待します。
		時間外勤務一ヶ月平均45時間以上の教職員数の割合、前年度比減	A	A	次年度も引き続き働き方改革の推進をお願いします。
		運営委員会における審議の効率化と職員会議における報告の簡潔化による勤務時間内での会議の終了	A	A	掲示板をうまく活用し、会議の効率化に努めてください。